

# 村田町竹の内地区産業廃棄物最終処分場 埋立廃棄物量等調査報告書

## 【概要図集】

### 資料目録

1. 資料等調査（中間報告配布済）
2. 地形測量  
図 2-1 処分場周辺の地形図
3. 表層ガス調査（中間報告配布済）
4. 高密度電気探査  
図 4-1 高密度電気探査 調査位置図（A～M 測線）  
図 4-2 高密度電気探査 解析比抵抗断面図（A～M 測線）  
表 4-1(1)～(4) ボーリング調査結果と比抵抗分布との対比  
図 4-3(1)～(13) 高密度電気探査比抵抗断面図及び地質断面図（A～M 測線）  
図 4-4 覆土層 等層厚線図  
図 4-5 埋立廃棄物層 下限分布等高線図  
図 4-6 埋立廃棄物層 等層厚線図
5. 埋立廃棄物量  
図 5-1 届出(許可)時の埋立区域とピートストックエリア及び浄化槽施設エリア位置図  
図 5-2 埋立廃棄物区分と許可時・現況の埋立面積の比較  
図 5-3 埋立処分量算定図（覆土層及び埋立廃棄物層等層厚線図）  
表 5-1 許可処分量と現況の推定埋立処分量との比較一覧表

宮 城 県  
株式会社 建設技術研究所

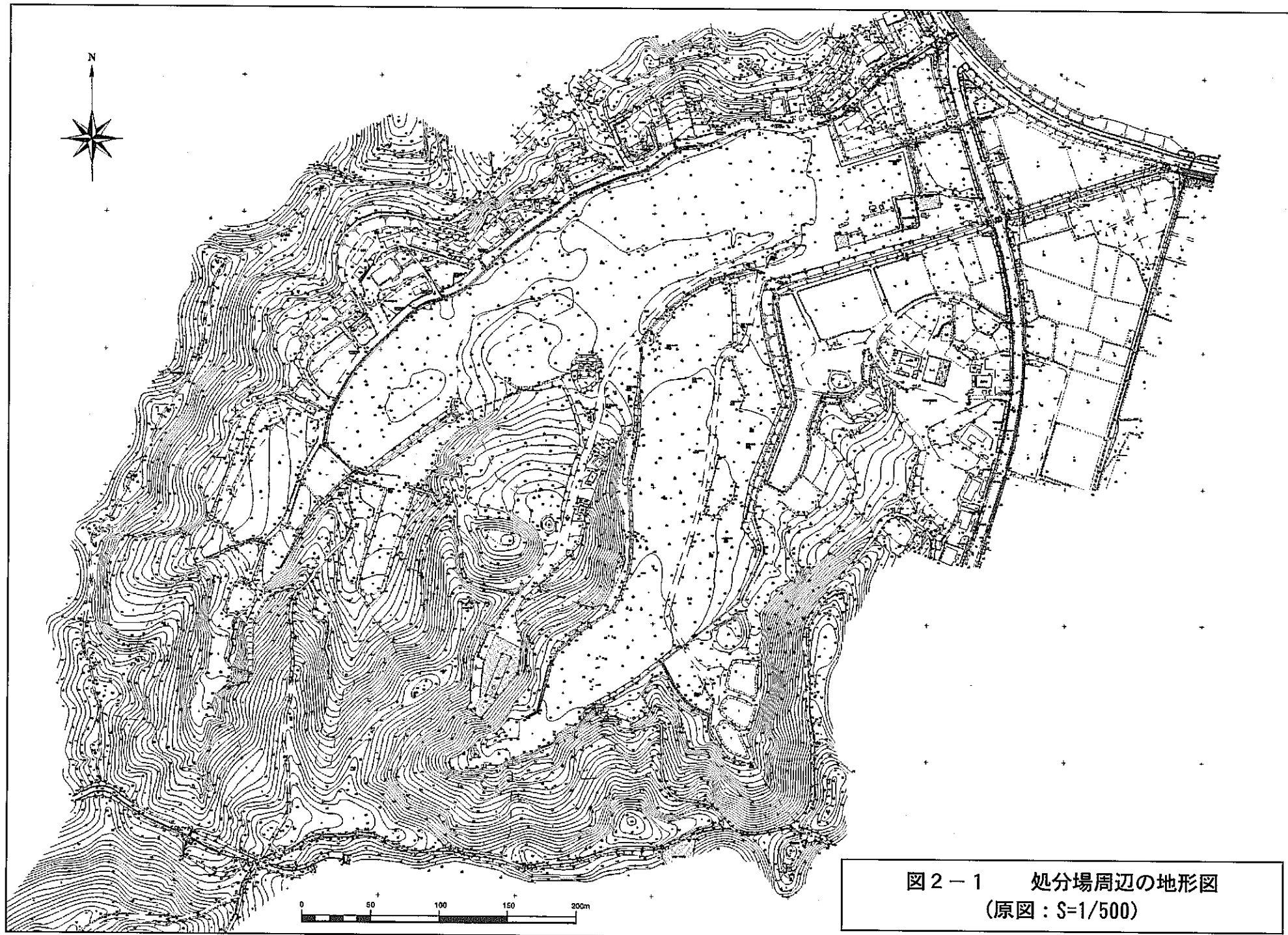
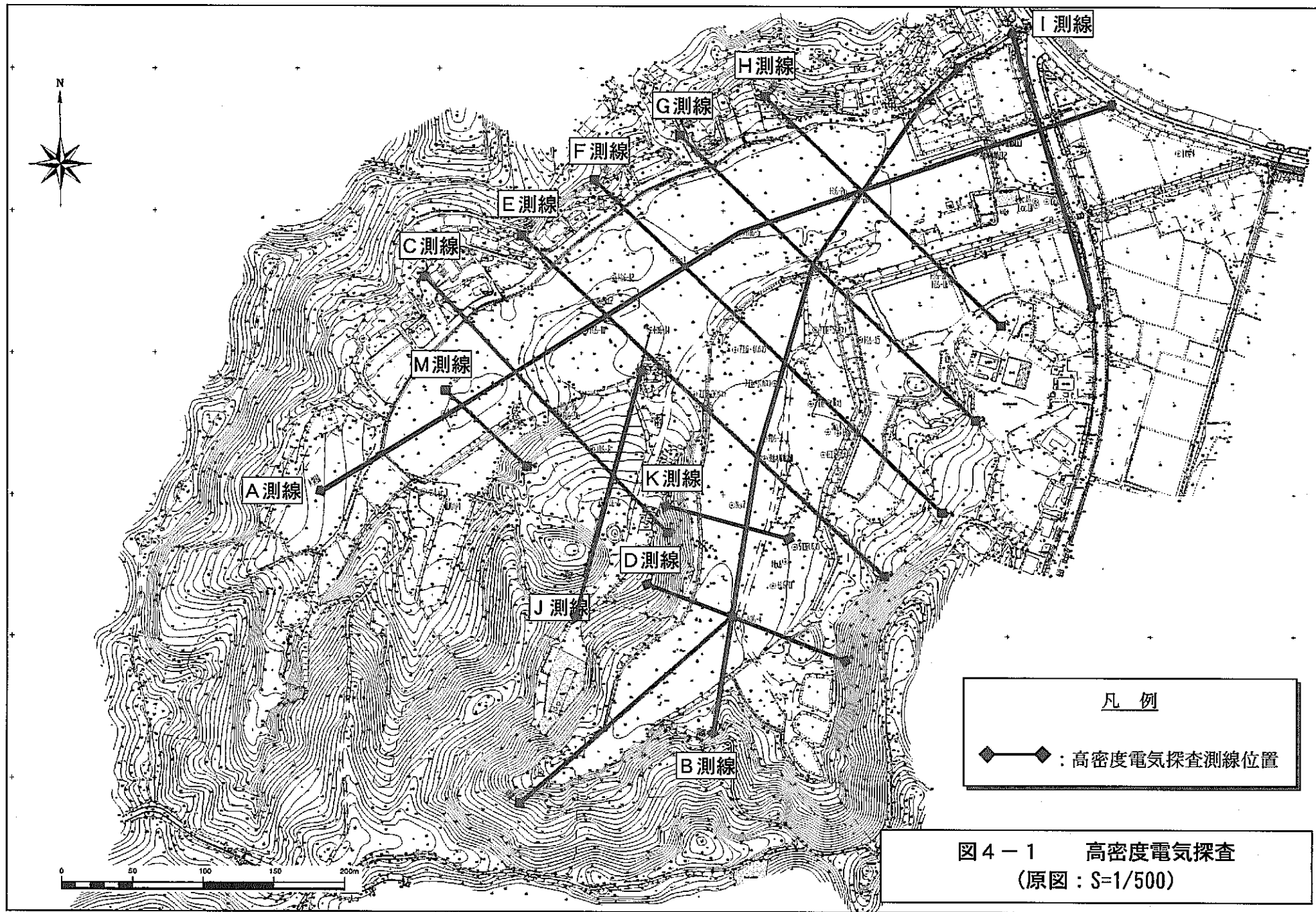


図 2 - 1 処分場周辺の地形図  
(原図 : S=1/500)



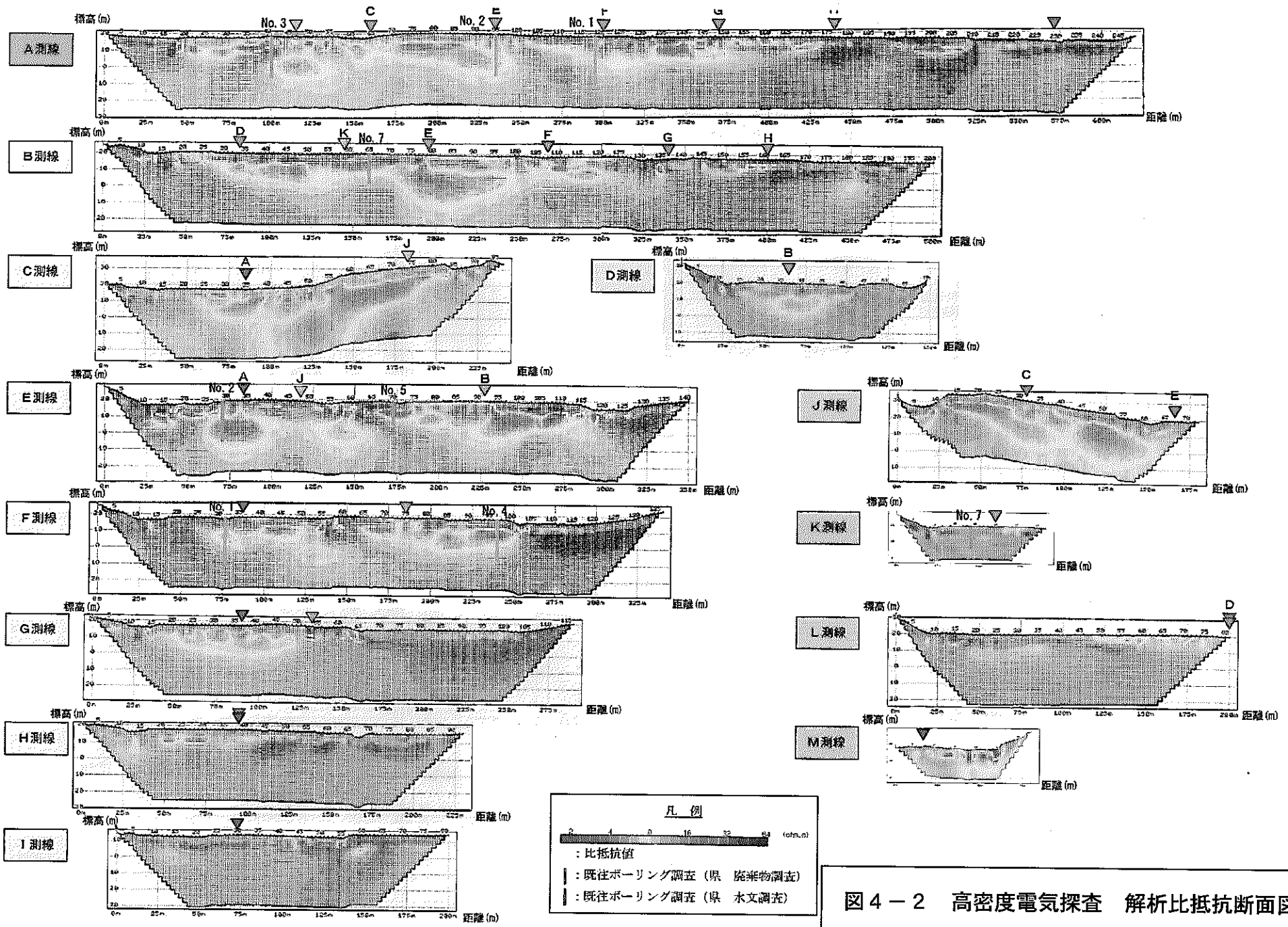


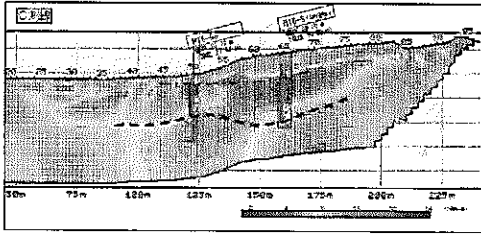
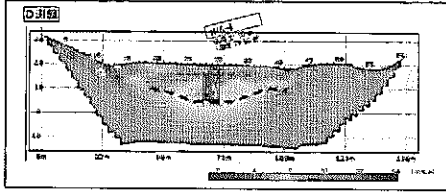
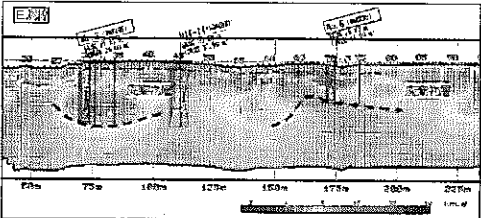
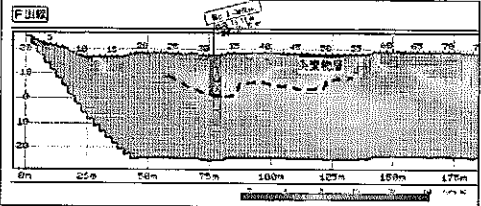
図 4 - 2 高密度電気探査 解析比抵抗断面図

表 4 - 1 ( 1 )      ボーリング調査結果と比抵抗分布との対比

測線名	ボーリング調査			廃棄物下限 深度の比抵抗値*1 (ohm.m)	抵抗断面図とボーリング柱状図との対比	廃棄物層と比抵抗値の関係
	孔番	地下水位 (GL. -m)	廃棄物 下限深度 (GL. -m)			
A 測線	No. 3	1. 23	23. 00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6. 30～7. 00m に中間礫土層 (砂質粘土) あり。</li> <li>・ 10m 以深孔壁保持困難で 1m 掘削ごとにケック*1を挿入。</li> <li>・ 16m 以深に土砂の混入多い。</li> </ul>	8～10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 廃棄物層は深度 2. 1～23. 0m に分布し、ほぼ 2～64ohm.m に相当。</li> <li>・ 深度 7～15m では地下水以深にもかかわらず、16～64ohm.m の比抵抗値を示した。この区間には、既往調査結果から中間礫土層が分布するが、深部と同様の廃棄物が分布していた。</li> </ul>
	H16-10	3. 95	27. 90	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 21. 80～22. 90m に中間礫土層 (雑泥じり砂質土) あり。</li> </ul>	8～10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 廃棄物層は深度 5. 0～27. 9m に分布し、ほぼ 4～10ohm.m に相当。</li> </ul>
	No. 1	1. 89	18. 20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 12. 00～12. 35m に中間礫土層 (廃棄物混じり土砂) あり。</li> </ul>	8～10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 廃棄物層は深度 3. 35～18. 2m に分布し、ほぼ 7～16ohm.m に相当。</li> <li>・ 深度 8m 以浅の 12ohm.m 以上の比抵抗部は、既存柱状図から判断して、廃プラ主体の廃棄物が分布していたため電気を通し難いと考えられる。</li> </ul>
	H16-5	2. 00	15. 80	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 13. 55～15. 80m は廃棄物混じり粘土。</li> </ul>	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 廃棄物層は深度 0. 5～15. 8m に分布し、ほぼ 2～32 ohm.m に相当。</li> <li>・ 深度 6. 5m までの 24ohm.m 以上の比抵抗部は、レンガ片などがれき質を含む廃棄物が分布していたため電気を通し難いと考えられる。</li> </ul>
	H16-2a	4. 13	13. 00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8. 55～13. 00m は廃棄物混じり粘土。</li> <li>・ 8. 55m では比抵抗値 5。</li> </ul>	24 (5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 廃棄物層は深度 0. 4～13. 0m に分布し、ほぼ 4～16 ohm.m に相当。</li> <li>・ 深度約 4m 以浅の 16～32ohm.m の比抵抗部は、地下水位以浅に位置し地下水で満たされていないため検出されたもので、深度 8. 55～13. 00m は、廃棄物層中に有機質粘土が多く含まれていたため電気を通し難いと考えられる。</li> </ul>
B 測線	H16-4	3. 00	14. 33	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 粘土多い。</li> <li>・ 鉄くず多い。</li> <li>・ 4m 付近から異臭発生</li> </ul>	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 廃棄物層は深度 2. 1～14. 3m に分布し、ほぼ 6～32ohm.m に相当。</li> <li>・ 深度 8m 以浅の 12～32ohm.m の比抵抗部は、礫など比較的粗粒分が多く含まれていたため電気を通し難いと考えられる。</li> </ul>
	H16-3	4. 30	25. 65	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 粘土多い。</li> <li>・ 4. 6m. 12m 付近から異臭あり。</li> </ul>	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 廃棄物層は深度 3. 5～25. 65m に分布し、ほぼ 3～16ohm.m に相当。</li> <li>・ 深度 10. 6m 以浅の 12～20ohm.m の比抵抗部は、粗粒分が多く含まれていたため電気を通し難いと考えられる。</li> </ul>
	H16-2a	4. 13	13. 00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8. 55～13. 00m は廃棄物混じり粘土。</li> <li>・ 8. 55m では比抵抗値 8。</li> </ul>	24 (8)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 廃棄物層は深度 0. 4～13. 0m に分布し、ほぼ 4～32ohm.m に相当。</li> <li>・ 深度約 4m 以浅の 20ohm.m 以上の比抵抗部は、地下水位以浅に位置し地下水で満たされていないため検出されたもので、深度 8. 55～13. 00m の 24ohm.m 以上の比抵抗部は、廃棄物層中に有機質粘土が多く含まれていたため、電気を通し難いと考えられる。</li> </ul>

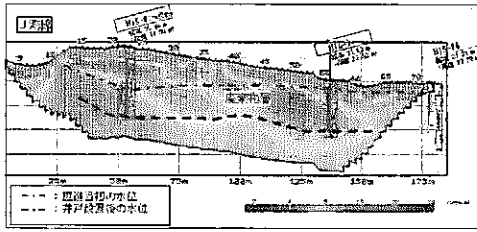
\*1: 比抵抗断面図からの読み取り数値

表4-1(2) ボーリング調査結果と比抵抗分布との対比

測線名	ボーリング調査			廃棄物下限 深度の比抵抗値*1 (ohm.m)	抵抗断面図とボーリング柱状図との対比	廃棄物層と比抵抗値の関係
	孔番	地下水位 (GL. -m)	廃棄物 下限深度 (GL. -m)			
C測線	H16-9a	3.48	17.10	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物層は深度2.7~17.1mに分布し、ほぼ2~16 ohm.mに相当。</li> <li>ボーリングでは深度17.1mに基盤岩を確認しているが、ここでは、基盤岩の方が比較的比抵抗値の低いエリアとして検出された。</li> <li>廃棄物層は深度4.8~28.3mに分布し、ほぼ2~12ohm.mに相当。</li> <li>深度約5~10mの12~24ohm.mの比抵抗部は、地下水位で浅に位置し地下水で満たされていないため電気を通し難いと考えられる。</li> </ul>
	H16-8	11.90	28.30	8~10		
D測線	H16-4	3.00	14.33	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物層は深度2.1~14.3mに分布し、ほぼ5~32ohm.mに相当。</li> <li>深度8m以浅の14~32ohm.m比抵抗部は、ガラスやタイルなどの廃棄物が多く含まれていたため電気を通し難いと考えられる。</li> </ul>
E測線	No. 2	1.96	24.80	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物層は深度3.5~24.8mに分布し、ほぼ2~12ohm.mに相当。</li> <li>廃棄物層は深度0.65~16.1mに分布し、ほぼ2~32ohm.mに相当。</li> <li>深度約5m以浅の28ohm.m以上の比抵抗部は、地下水位で浅に位置し地下水で満たされていないため電気を通し難いと考えられる。</li> </ul>
	No. 5	3.43	16.10	10		
F測線	No. 1	1.89	18.20	8		<ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物層は深度3.35~18.2mに分布し、ほぼ6~28ohm.mに相当。</li> <li>深度8m以浅の16ohm.m以上の比抵抗部は、既存柱状図から判断して、廃プラ主体の廃棄物が分布していたため電気を通し難いと考えられる。</li> </ul>

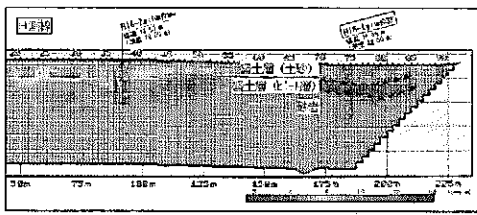
\*1: 比抵抗断面図からの読み取り数値

表 4-1 (3) ボーリング調査結果と比抵抗分布との対比

測線名	ボーリング調査				廃棄物下限深度の比抵抗値*1 (ohm.m)	抵抗断面図とボーリング柱状図との対比	廃棄物層と比抵抗値の関係
	孔番	地下水位 (GL.-m)	廃棄物下限深度 (GL.-m)	記事			
J 測線	H16-6	17.07	28.75	<ul style="list-style-type: none"> <li>・斜面部。</li> <li>・21m 付近から異臭発生。</li> <li>・深度 1.3m に水位確認以後、深度 12m 掘進前まで水位無し。</li> <li>・深度 12m 掘進時に水位 9.17m で、以深掘削とともに水位低下。</li> </ul>	12		<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物層は深度 4.83~28.75m に分布し、ほぼ 2~12ohm.m に相当。</li> <li>・地下水位が浅い低比抵抗部 (6ohm.m 以下) は木くずの燃え殻などが確認されたこと、当初の保有水が深度 9m 付近にあったことから電解質に富んだ部分があったことに由来するものと考えられる。</li> <li>・深度 15m 以深に 12~18ohm.m の比抵抗部が検出された理由としては、掘進中の孔内水位変化から一部に遮水層の役割を持つ中間覆土層が存在し、覆土層の上層は電解質に富んだ保有水が分布していたと考えられるのに対し、下層は上層から保有水が浸透し難かったことに加え、山側から清浄な地下水が流入していたため、比抵抗が高く観測されたものと推定される。</li> </ul>
	H16-7	3.18	21.10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9.15~9.60m に中間覆土層 (粘土混じり砂礫) あり。</li> </ul>	6		

\*1: 比抵抗断面図からの読み取り数値

表 4-1 (4) ボーリング調査結果と比抵抗分布との対比

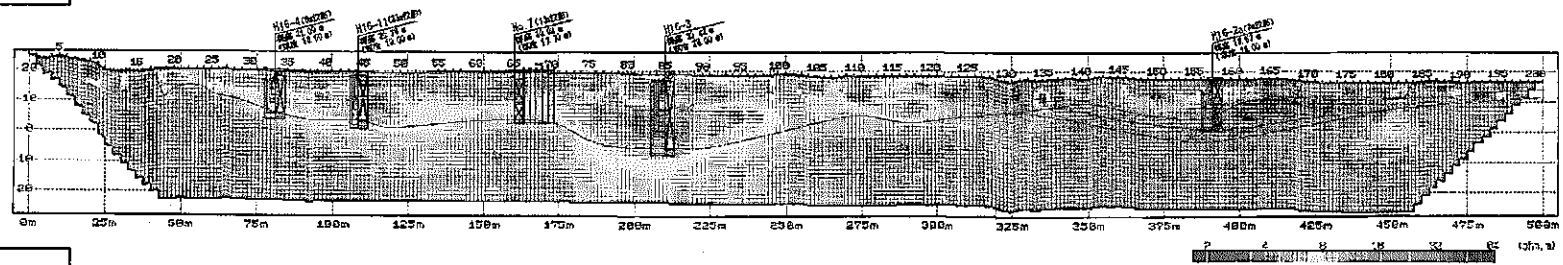
測線名	ボーリング調査				自然地表上面深度の比抵抗値*1 (ohm.m)	抵抗断面図とボーリング柱状図との対比	盛土層や自然地表と比抵抗値の関係
	孔番	地下水位 (GL.-m)	自然地表上面深度 (GL.-m)	記事			
H 測線	H16-1a	1.50	11.10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・田。</li> <li>・深度 7.0m 以浅は花崗岩などの礫やコンクリート片などが混入する埋土層。</li> <li>・深度 7.0~11.1m はビート層主体。</li> </ul>	10		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンクリート片など含む盛土層は深度 1.9~7.0m に分布し、ほぼ 10~16ohm.m に相当。</li> <li>・ビート層主体の盛土層は深度 7.0~11.1m に分布し、ほぼ 56~64ohm.m に相当。</li> <li>・基盤岩 (砂岩・凝灰質砂岩) は深度 11.1m 以深に分布し、ほぼ 16~48ohm.m に相当。</li> </ul>

\*1: 比抵抗断面図からの読み取り数値





比抵抗断面図



地質断面図

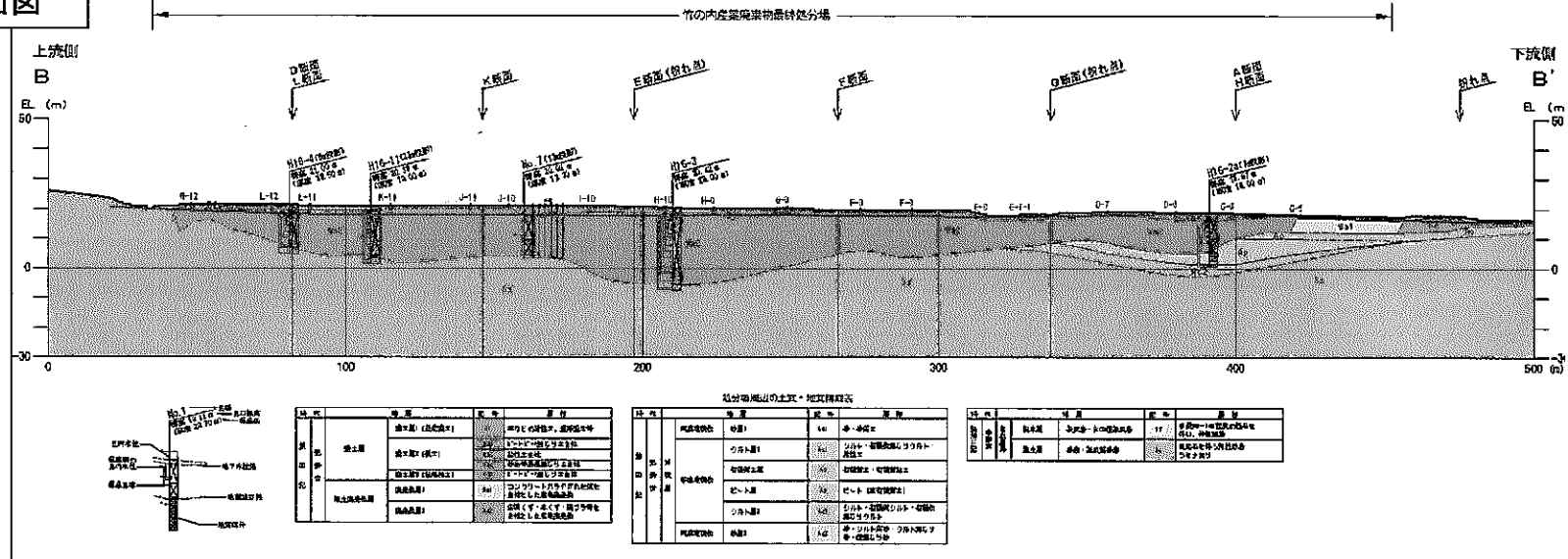
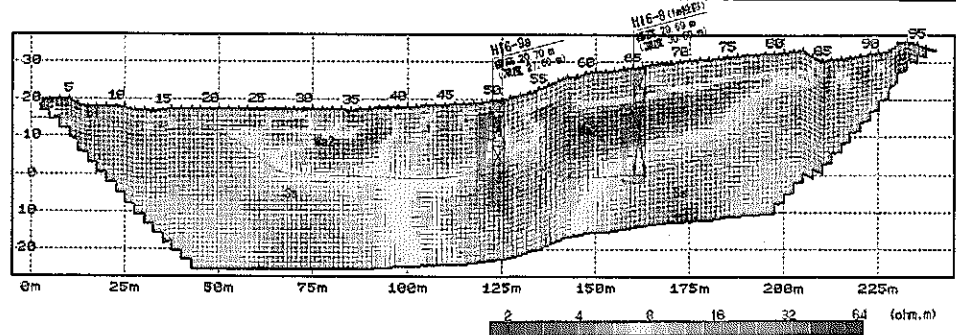
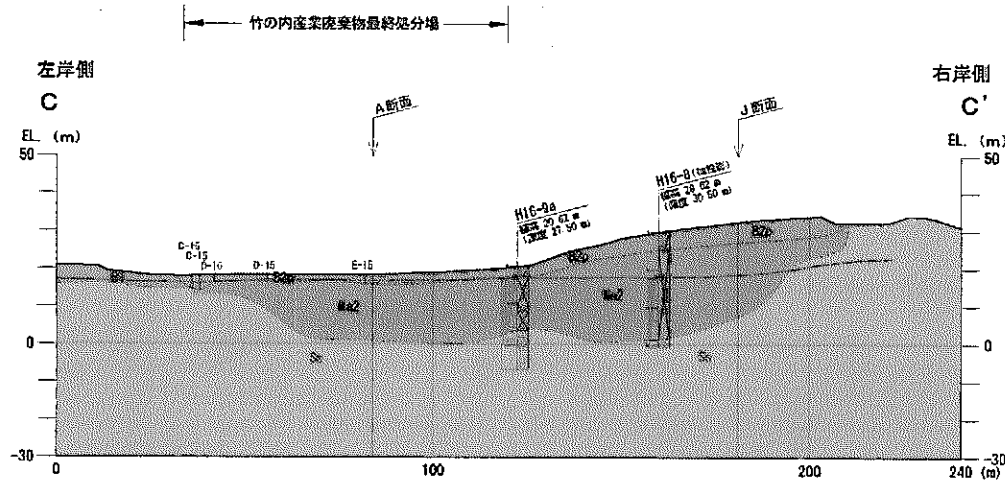


図4-3(2) 高密度電気探査 比抵抗断面図及び地質断面図 (B測線) (S=1/2, 500)

比抵抗断面図



地質断面図



処分場周辺の土質・地質構成表

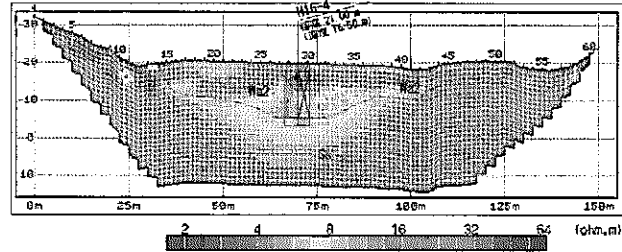
土質	地質	記号	説明
腐植土層	腐植土層 (腐植土)	腐植土層	腐植土層 (腐植土)
腐植土層	腐植土層 (腐植土)	腐植土層	腐植土層 (腐植土)
腐植土層	腐植土層 (腐植土)	腐植土層	腐植土層 (腐植土)
腐植土層	腐植土層 (腐植土)	腐植土層	腐植土層 (腐植土)
腐植土層	腐植土層 (腐植土)	腐植土層	腐植土層 (腐植土)

土質	地質	記号	説明
腐植土層	腐植土層 (腐植土)	腐植土層	腐植土層 (腐植土)
腐植土層	腐植土層 (腐植土)	腐植土層	腐植土層 (腐植土)
腐植土層	腐植土層 (腐植土)	腐植土層	腐植土層 (腐植土)
腐植土層	腐植土層 (腐植土)	腐植土層	腐植土層 (腐植土)
腐植土層	腐植土層 (腐植土)	腐植土層	腐植土層 (腐植土)

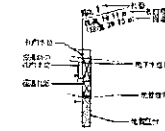
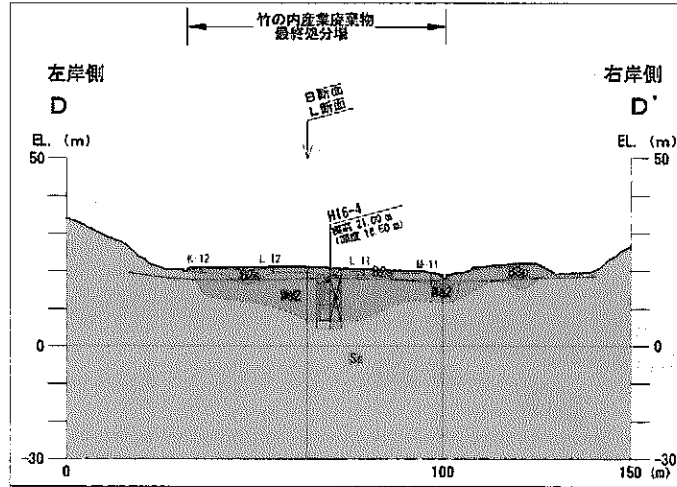
土質	地質	記号	説明
腐植土層	腐植土層 (腐植土)	腐植土層	腐植土層 (腐植土)
腐植土層	腐植土層 (腐植土)	腐植土層	腐植土層 (腐植土)
腐植土層	腐植土層 (腐植土)	腐植土層	腐植土層 (腐植土)

図4-3(3) 高密度電気探査 比抵抗断面図及び地質断面図 (C測線) (S=1/2,000)

比抵抗断面図



地質断面図



処分場周辺の土質・地質構成表

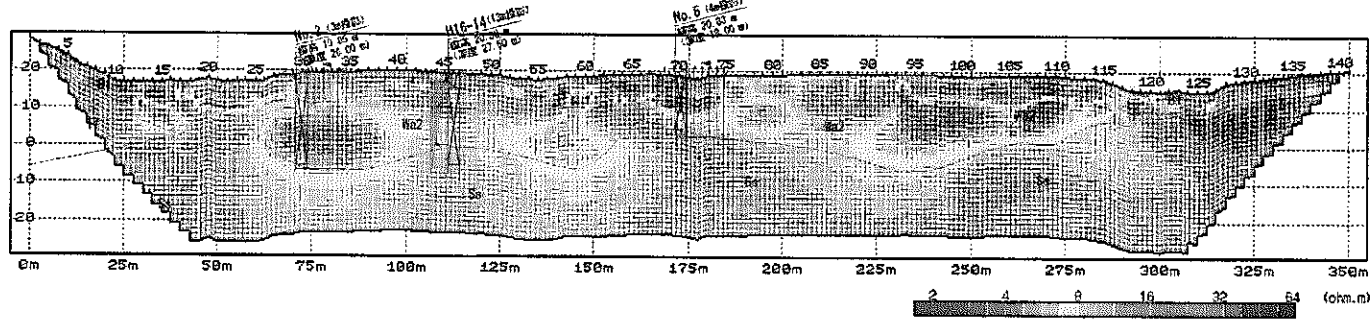
時代	地層	記号	層位
第四紀	表土層 (表層堆積)		低圧堆積物、腐植質土
	表土層 (埋土)		埋土層、埋土層
	表土層 (埋土)		埋土層、埋土層
	表土層 (埋土)		埋土層、埋土層
竹の産廃物	産廃物		竹の産廃物、竹の産廃物
	産廃物		竹の産廃物、竹の産廃物

時代	地層	記号	層位
第四紀	表土層		埋土層
	埋土層		埋土層、埋土層
	埋土層		埋土層、埋土層
	埋土層		埋土層、埋土層
第四紀	埋土層		埋土層、埋土層
	埋土層		埋土層、埋土層

時代	地層	記号	層位
第四紀	埋土層		埋土層、埋土層
	埋土層		埋土層、埋土層

図4-3(4) 高密度電気探査 比抵抗断面図及び地質断面図 (D測線) (S=1/2,000)

比抵抗断面図



地質断面図

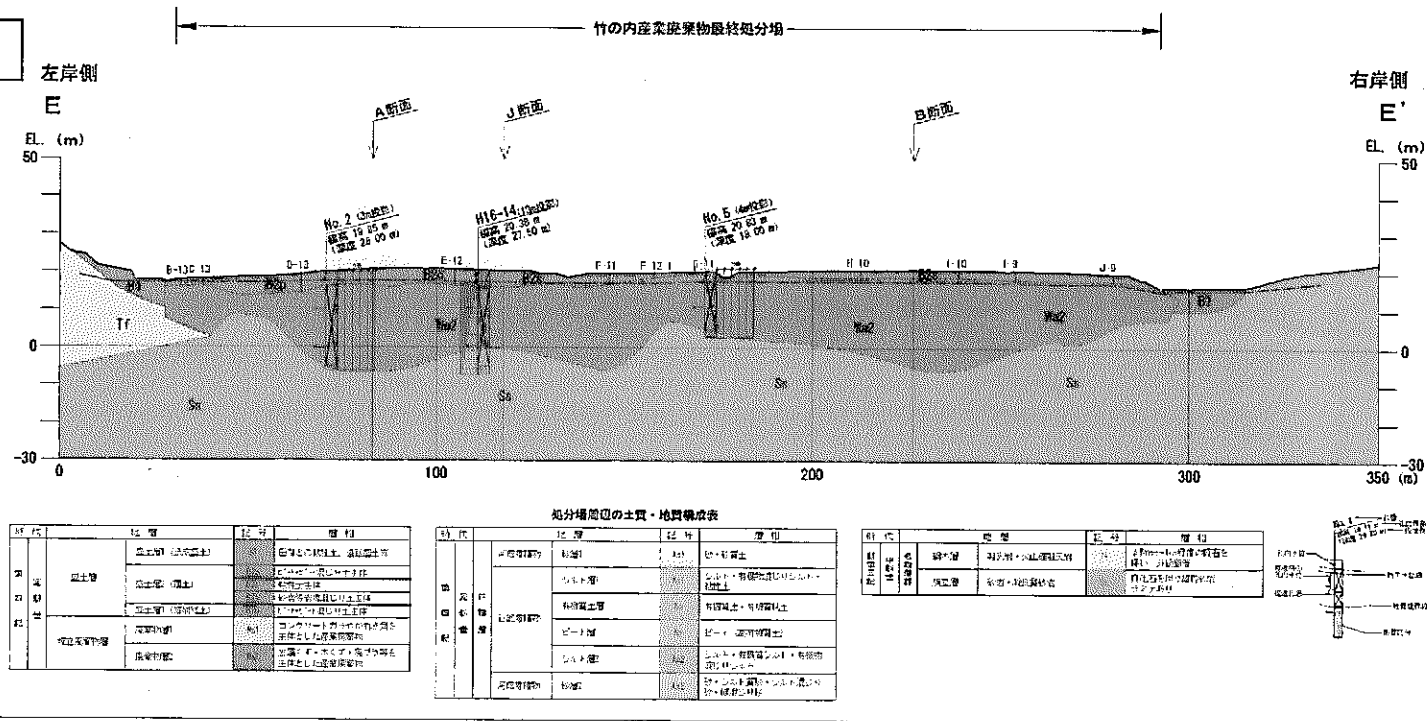
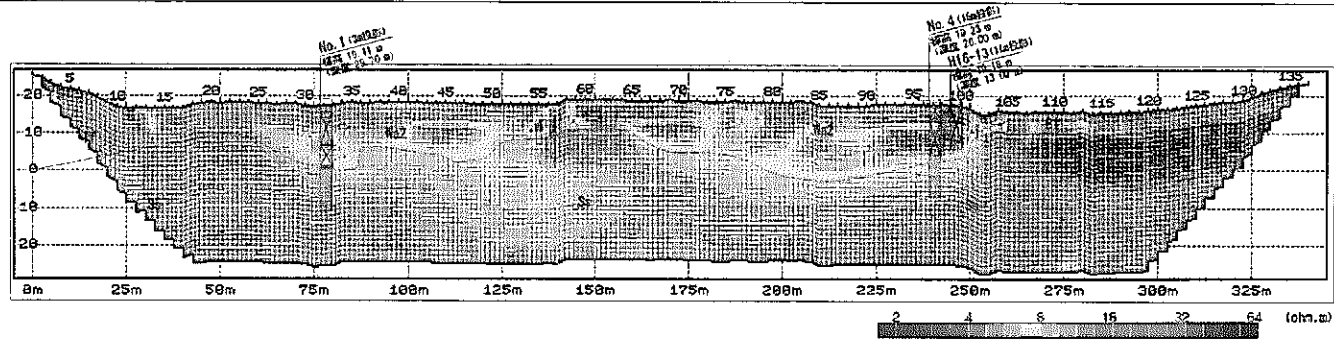


図 4 - 3 ( 5 ) 高密度電気探査 比抵抗断面図及び地質断面図 ( E 測線 ) ( S=1/2, 000 )

比抵抗断面図



地質断面図

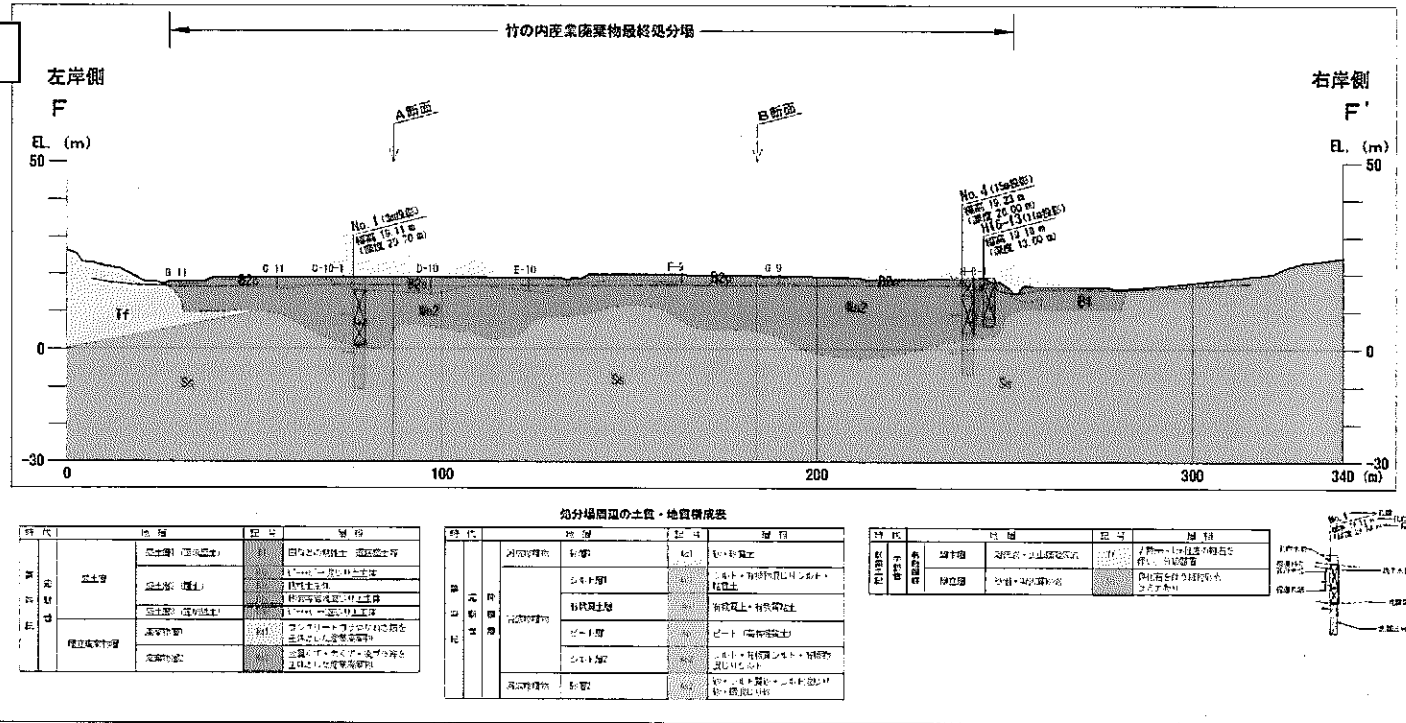
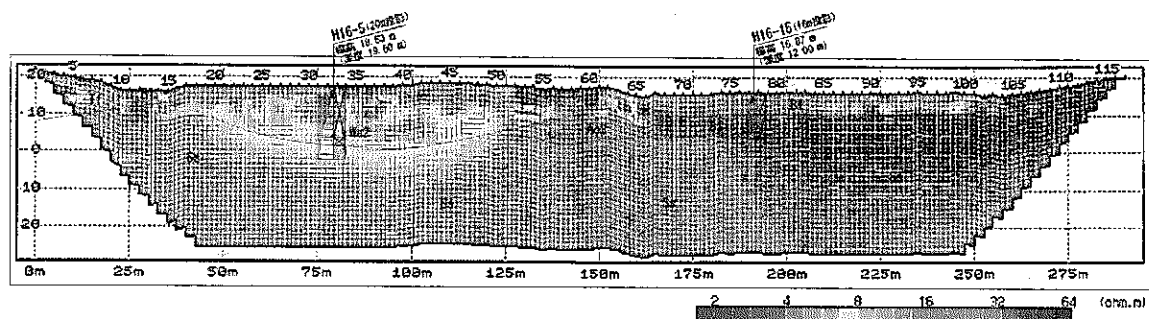
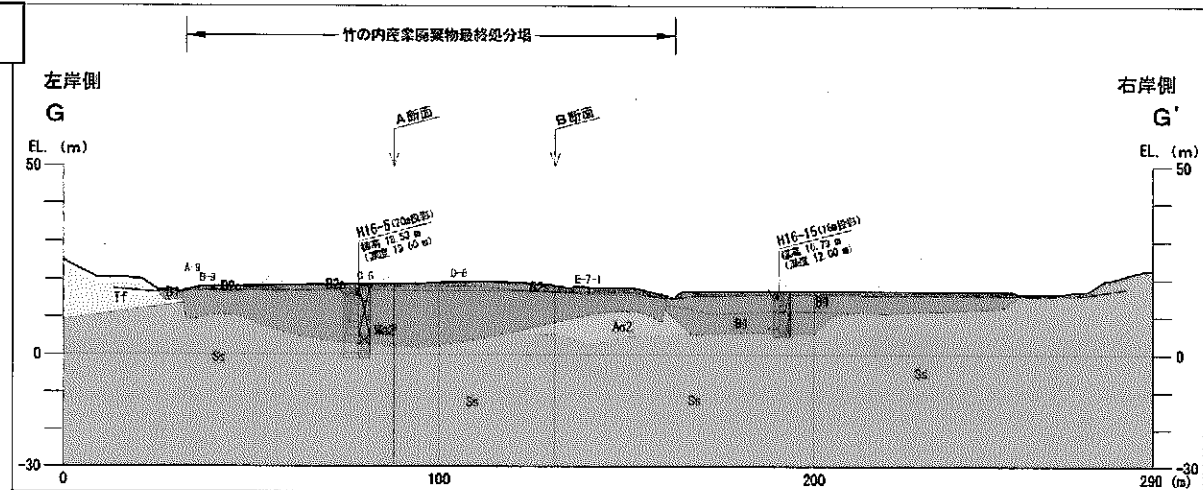


図4-3(6) 高密度電気探査 比抵抗断面図及び地質断面図 (F測線) (S=1/2,000)

比抵抗断面図



地質断面図



図記	地層	記号	説明
地盤	埋立層 (埋立土)	S1	埋立土 (埋立土)
	埋立層 (埋立土)	S2	埋立土 (埋立土)
	埋立層 (埋立土)	S3	埋立土 (埋立土)
埋立層	埋立層 (埋立土)	S4	埋立土 (埋立土)
	埋立層 (埋立土)	S5	埋立土 (埋立土)
埋立層	埋立層 (埋立土)	S6	埋立土 (埋立土)
	埋立層 (埋立土)	S7	埋立土 (埋立土)

図記	地層	記号	説明
埋立層	埋立層 (埋立土)	S8	埋立土 (埋立土)
	埋立層 (埋立土)	S9	埋立土 (埋立土)
埋立層	埋立層 (埋立土)	S10	埋立土 (埋立土)
	埋立層 (埋立土)	S11	埋立土 (埋立土)
埋立層	埋立層 (埋立土)	S12	埋立土 (埋立土)
	埋立層 (埋立土)	S13	埋立土 (埋立土)
埋立層	埋立層 (埋立土)	S14	埋立土 (埋立土)
	埋立層 (埋立土)	S15	埋立土 (埋立土)

図記	地層	記号	説明
埋立層	埋立層 (埋立土)	S16	埋立土 (埋立土)
	埋立層 (埋立土)	S17	埋立土 (埋立土)
埋立層	埋立層 (埋立土)	S18	埋立土 (埋立土)
	埋立層 (埋立土)	S19	埋立土 (埋立土)
埋立層	埋立層 (埋立土)	S20	埋立土 (埋立土)
	埋立層 (埋立土)	S21	埋立土 (埋立土)

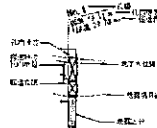
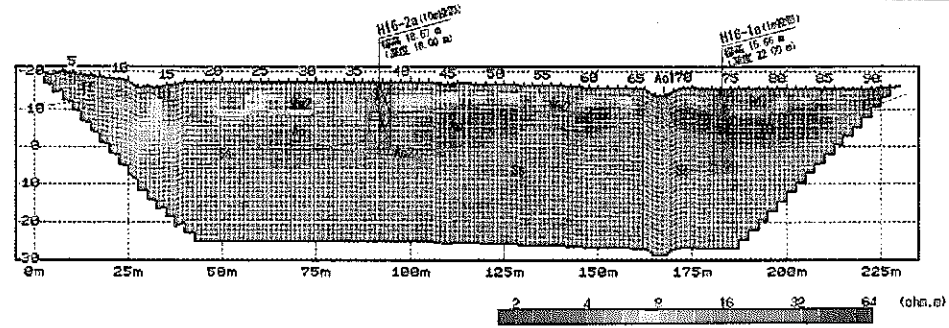
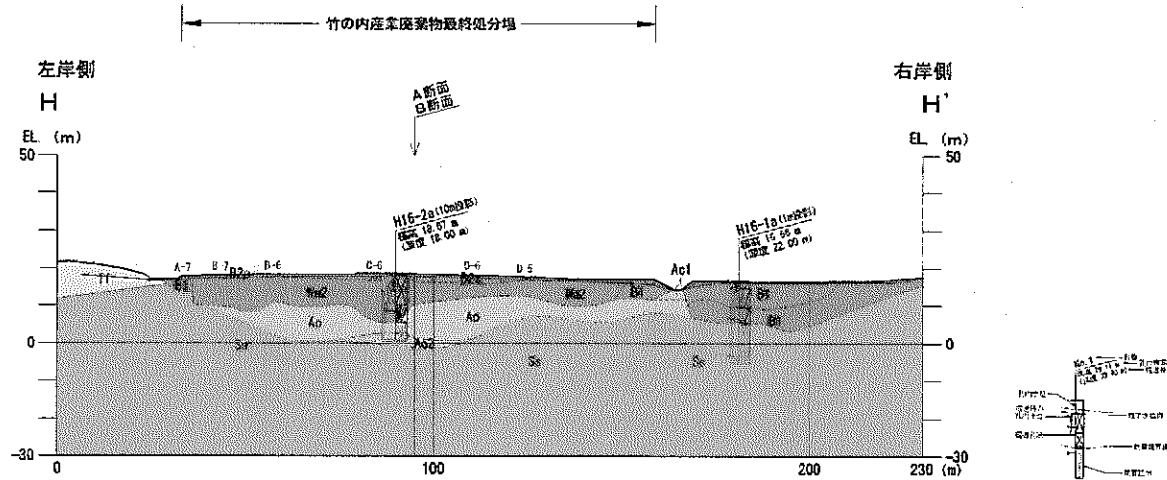


図4-3(7) 高密度電気探査 比抵抗断面図及び地質断面図 (G測線) (S=1/2, 000)

比抵抗断面図



地質断面図



図式	記号	名称	層厚
地質	①	硬質粘土層	硬質粘土層、硬質砂質土
	②	硬質砂質土	硬質砂質土
	③	硬質砂礫層	硬質砂礫層
	④	硬質粘土層	硬質粘土層
	⑤	硬質砂質土	硬質砂質土
地質	⑥	硬質粘土層	硬質粘土層
	⑦	硬質砂質土	硬質砂質土

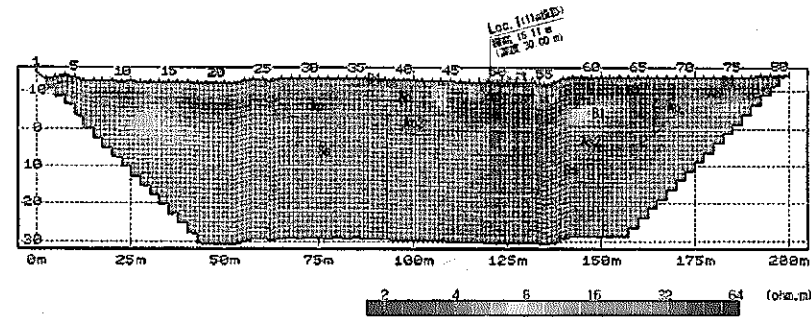
処分場周辺の土質・地質構成表

図式	記号	名称	層厚
地質	①	硬質粘土層	硬質粘土層
	②	硬質砂質土	硬質砂質土
	③	硬質砂礫層	硬質砂礫層
	④	硬質粘土層	硬質粘土層
地質	⑤	硬質砂質土	硬質砂質土
	⑥	硬質粘土層	硬質粘土層

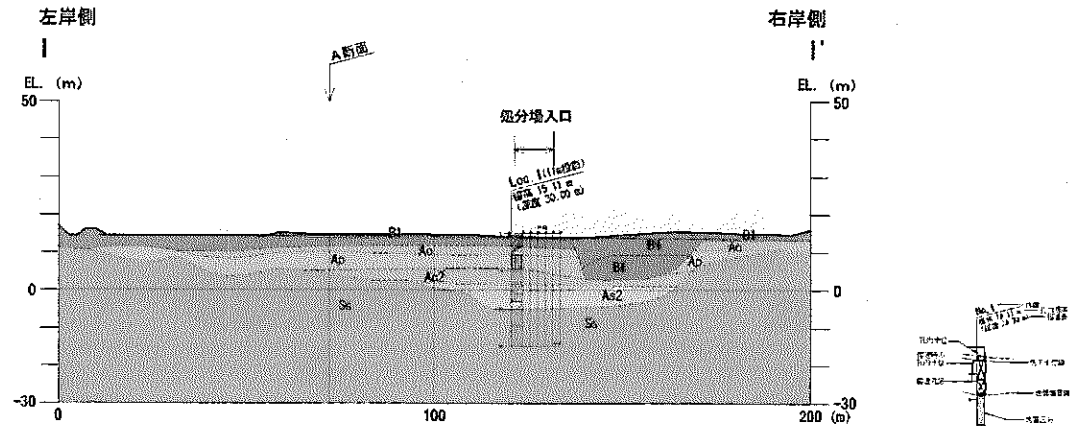
図式	記号	名称	層厚
地質	①	硬質粘土層	硬質粘土層
	②	硬質砂質土	硬質砂質土
	③	硬質砂礫層	硬質砂礫層

図4-3(8) 高密度電気探査 比抵抗断面図及び地質断面図 (H測線) (S=1/2,000)

比抵抗断面図



地質断面図



処分場周辺の土質・地質構成表

特性	土質	記号	説明
土質	底土層 (底層土)	Si	固結した粘土、凝結土層
	底土層 (硬土)	As1	硬質粘土層
	底土層 (軟弱粘土)	As2	軟弱な粘土層
	底土層 (砂質粘土)	As3	砂質粘土層
埋立地層	埋立土層	As4	埋立土層
	埋立土層	As5	埋立土層

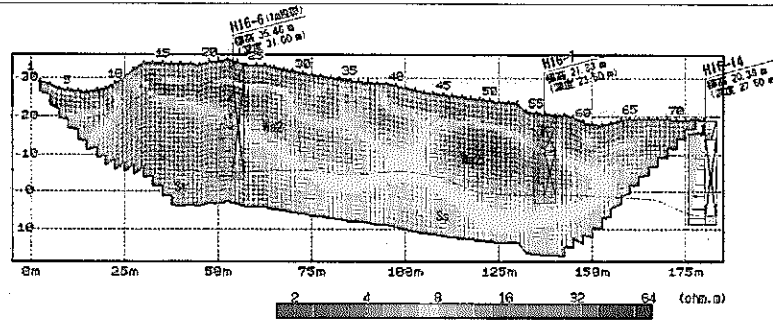
特性	土質	記号	説明
埋立地層	埋立土層	As1	埋立土層
	埋立土層	As2	埋立土層
	埋立土層	As3	埋立土層
	埋立土層	As4	埋立土層

特性	土質	記号	説明
埋立地層	埋立土層	As1	埋立土層
	埋立土層	As2	埋立土層

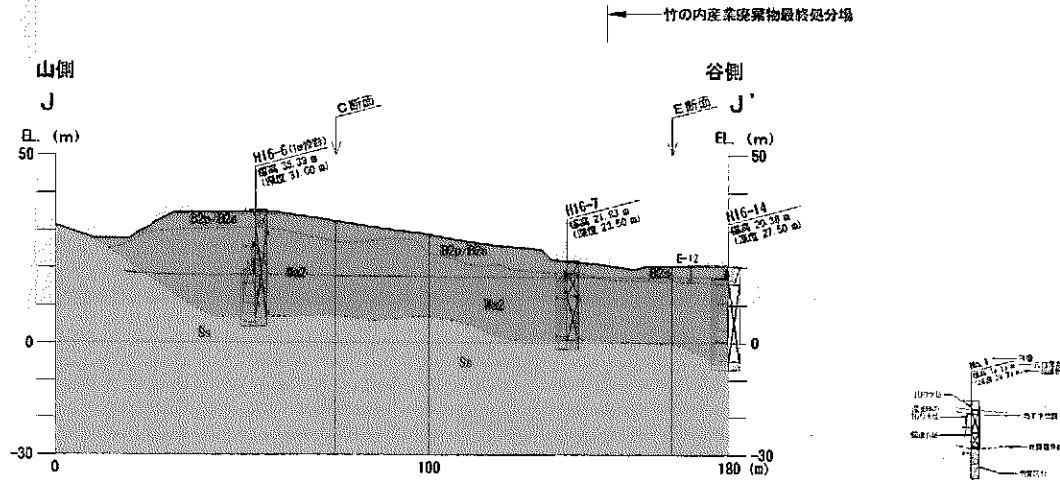
図4-3(9) 高密度電気探査 比抵抗断面図及び地質断面図 (I測線) (S=1/2,000)



比抵抗断面図



地質断面図



土質	記号	説明
表土層	表土層 (表層土)	腐植土・堆積土
	表土層 (腐土)	腐植土・堆積土
	表土層 (腐砂土)	腐植土・堆積土
河川堆積物	河川堆積物	砂・シルト・粘土質シルト
	河川堆積物	砂・シルト・粘土質シルト

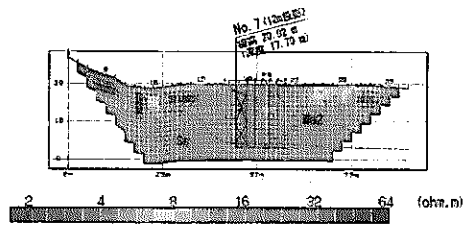
船分境周辺の土質・地質構成表

土質	記号	説明
河川堆積物	河川堆積物	砂・シルト
	河川堆積物	シルト・粘質シルト・粘土質シルト
	河川堆積物	粘質シルト・粘土質シルト
河川堆積物	河川堆積物	砂・シルト
	河川堆積物	シルト・粘質シルト・粘土質シルト

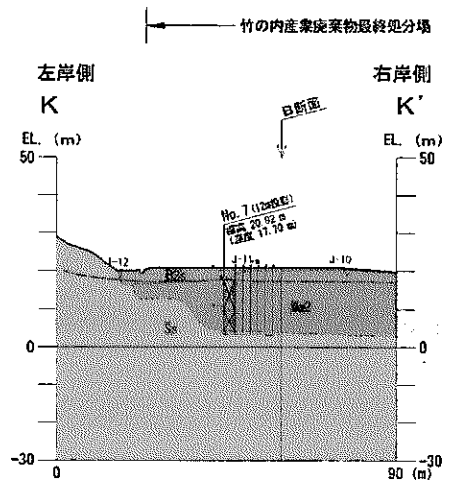
土質	記号	説明
河川堆積物	河川堆積物	砂・シルト
	河川堆積物	シルト・粘質シルト・粘土質シルト

図 4 - 3 (10) 高密度電気探査 比抵抗断面図及び地質断面図 (J 測線) (S=1/2, 000)

比抵抗断面図



地質断面図



種別	地層	記号	層名
地質	粘土層 (軟弱地層)	Cl	粘土層 (軟弱地層)
	粘土層 (硬質)	Cl'	粘土層 (硬質)
	砂質粘土層 (硬質)	Cl''	砂質粘土層 (硬質)
埋設物	埋設物 (コンクリート)	C	埋設物 (コンクリート)
	埋設物 (鉄筋コンクリート)	RC	埋設物 (鉄筋コンクリート)

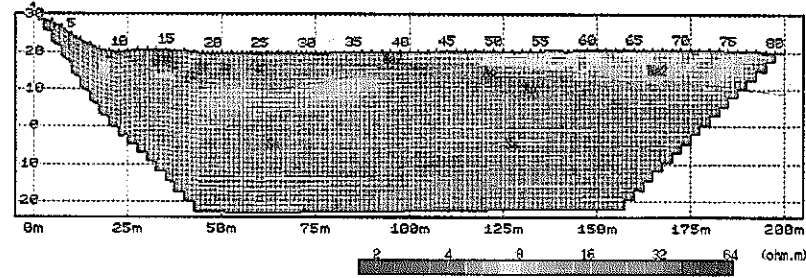
処分場周辺の土質 - 地質構成表

種別	地層	記号	層名
埋設物	埋設物 (コンクリート)	C	埋設物 (コンクリート)
	埋設物 (鉄筋コンクリート)	RC	埋設物 (鉄筋コンクリート)
	埋設物 (土)	S	埋設物 (土)
	埋設物 (砂)	S'	埋設物 (砂)
地質	砂質粘土層	Cl''	砂質粘土層
	粘土層	Cl	粘土層

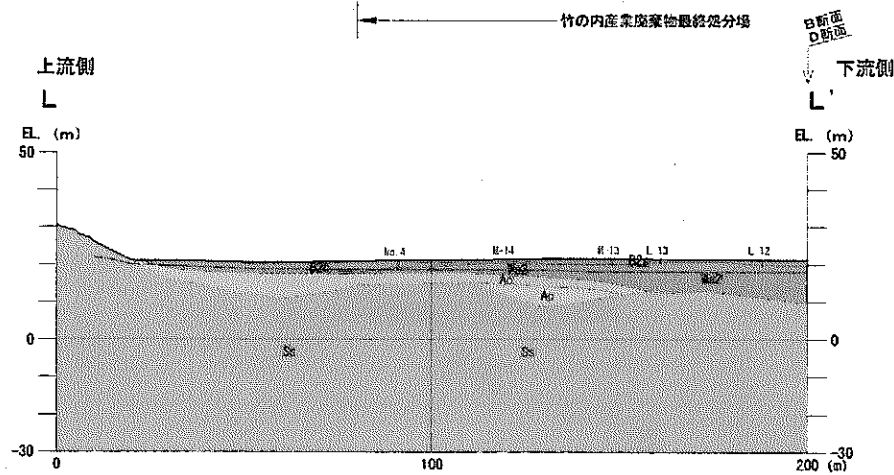
種別	地層	記号	層名
埋設物	埋設物 (コンクリート)	C	埋設物 (コンクリート)
	埋設物 (鉄筋コンクリート)	RC	埋設物 (鉄筋コンクリート)
地質	砂質粘土層	Cl''	砂質粘土層
	粘土層	Cl	粘土層

図 4 - 3 (11) 高密度電気探査 比抵抗断面図及び地質断面図 (K測線) (S=1/2, 000)

比抵抗断面図



地質断面図



処分場周辺の土質・地質構成表

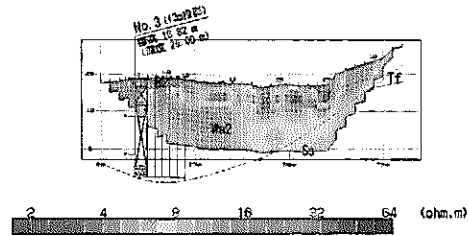
時代	地層	記号	層位
新第三紀	埋土層	埋土層(埋土層)	埋土層(埋土層) 埋土層等
		埋土層(埋土層)	埋土層(埋土層) 埋土層等
	埋土層(埋土層)	埋土層(埋土層)	埋土層(埋土層) 埋土層等
		埋土層(埋土層)	埋土層(埋土層) 埋土層等
埋土層(埋土層)	埋土層(埋土層)	埋土層(埋土層) 埋土層等	
	埋土層(埋土層)	埋土層(埋土層) 埋土層等	

時代	地層	記号	層位
新第三紀	埋土層	埋土層	埋土層
		埋土層	埋土層
	埋土層	埋土層	埋土層
		埋土層	埋土層

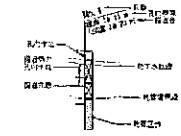
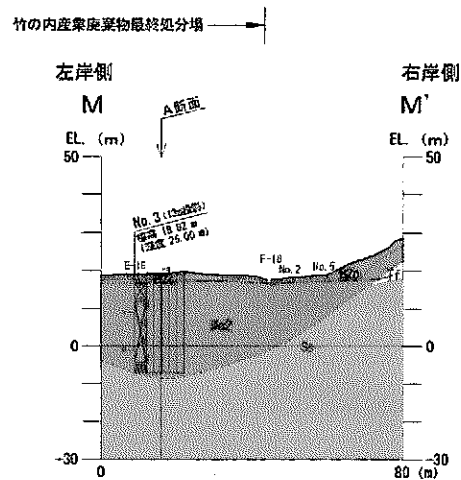
時代	地層	記号	層位
新第三紀	埋土層	埋土層	埋土層
		埋土層	埋土層

図4-3(12) 高密度電気探査 比抵抗断面図及び地質断面図 (L測線) (S=1/2,000)

比抵抗断面図



地質断面図



処分場周辺の土質・地質構成表

時代	地層	記号	層厚
新 第三 紀	粘土層 (山崎層)		粘性土の粘土質土、細粒土層
	粘土層 (山崎層)		粘性土の粘土質土、細粒土層
	粘土層 (山崎層)		粘性土の粘土質土、細粒土層
	粘土層 (山崎層)		粘性土の粘土質土、細粒土層
	粘土層 (山崎層)		粘性土の粘土質土、細粒土層
第四紀	表層砂層		コンクリート骨材の破片、土質を主とした産業廃棄物
	産業廃棄物		石膏・アクリル・スチロール等を主とした産業廃棄物

時代	地層	記号	層厚
新 第三 紀	山崎層		粘土質土
	山崎層		粘土質土、有機物混じりシルト・シルト
	山崎層		砂質粘土、有機物混じり
	山崎層		シルト (有機物混じり)
第四紀	山崎層		シルト・有機物混じり、有機物混じりシルト
	山崎層		シルト・有機物混じり、シルト混じりシルト

時代	地層	記号	層厚
新 第三 紀	山崎層		山崎層・山崎層の下部は、粘性土
	山崎層		粘性土、粘土質土

図4-3 (13) 高密度電気探査 比抵抗断面図及び地質断面図 (M測線) (S=1/2, 000)

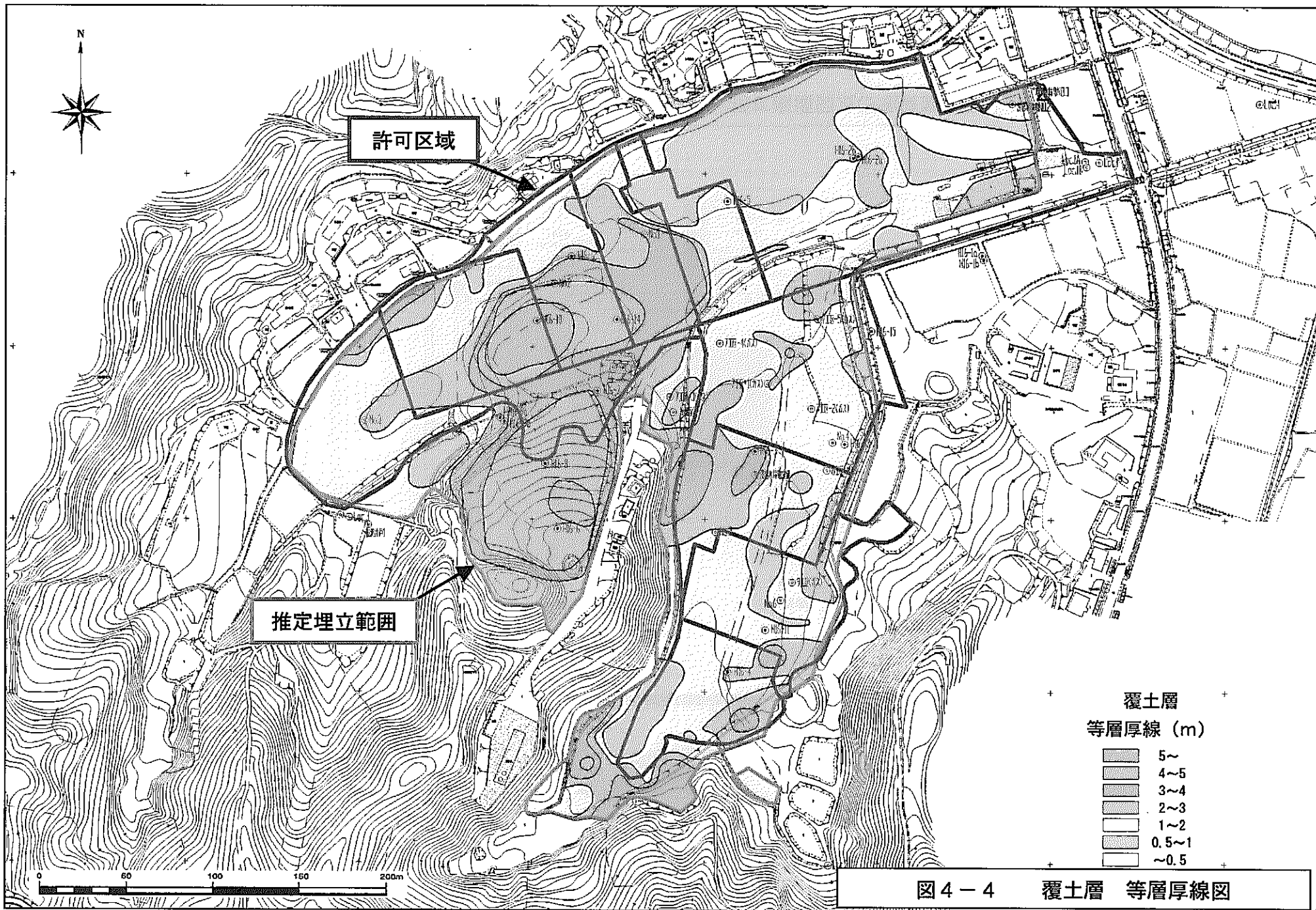


図4-4 覆土層 等層厚線図

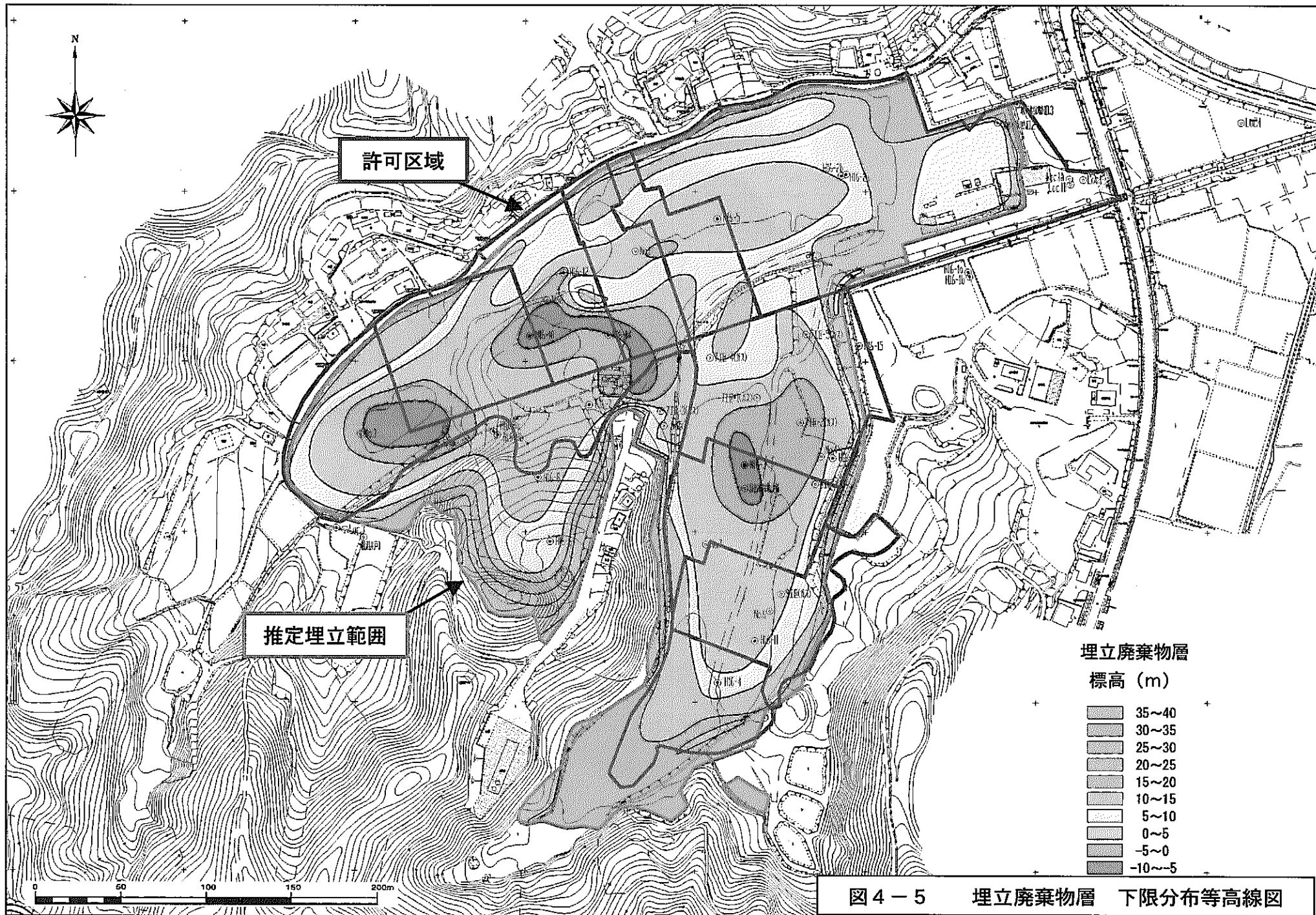


図4-5 埋立廃棄物層 下限分布等高線図

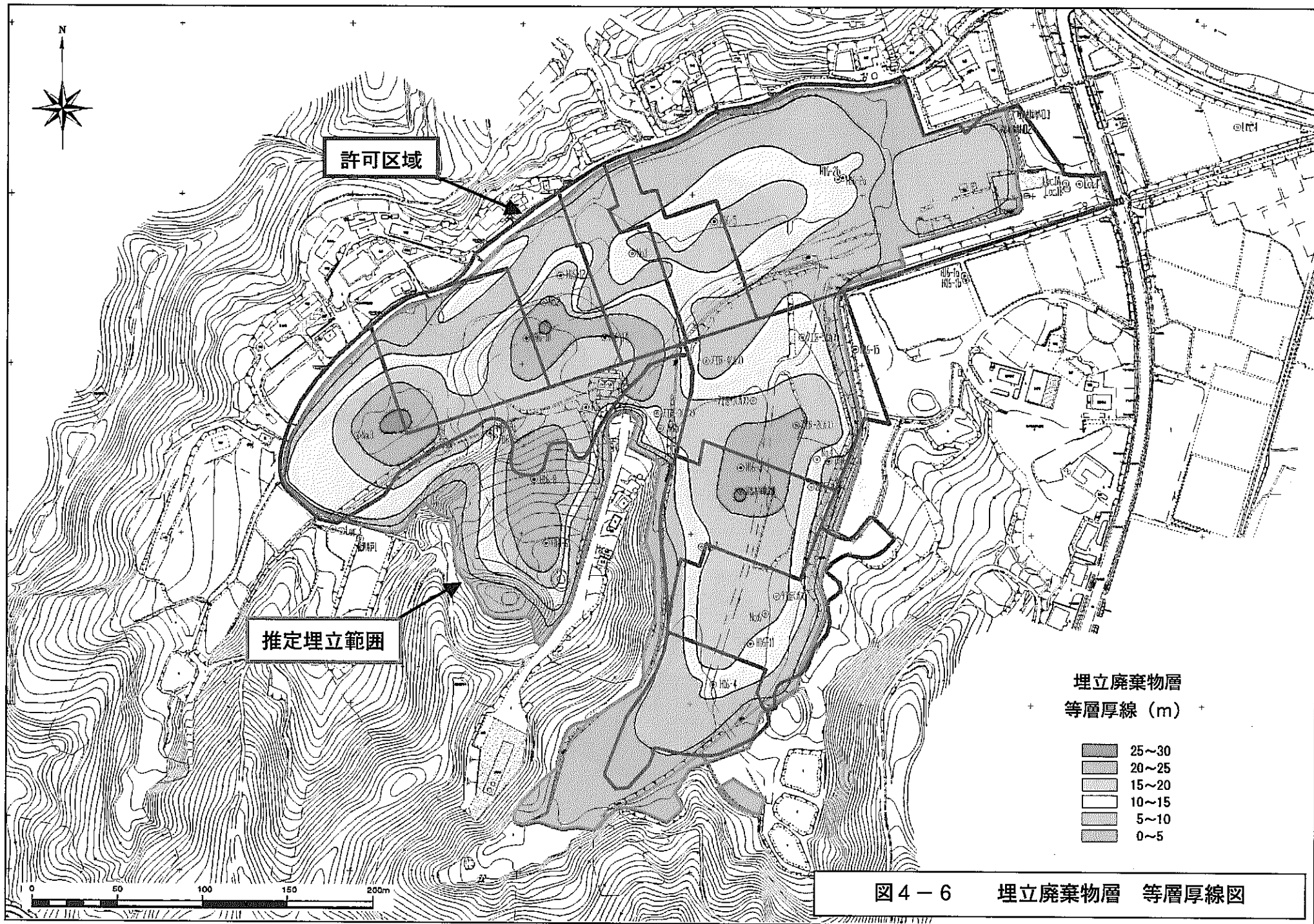
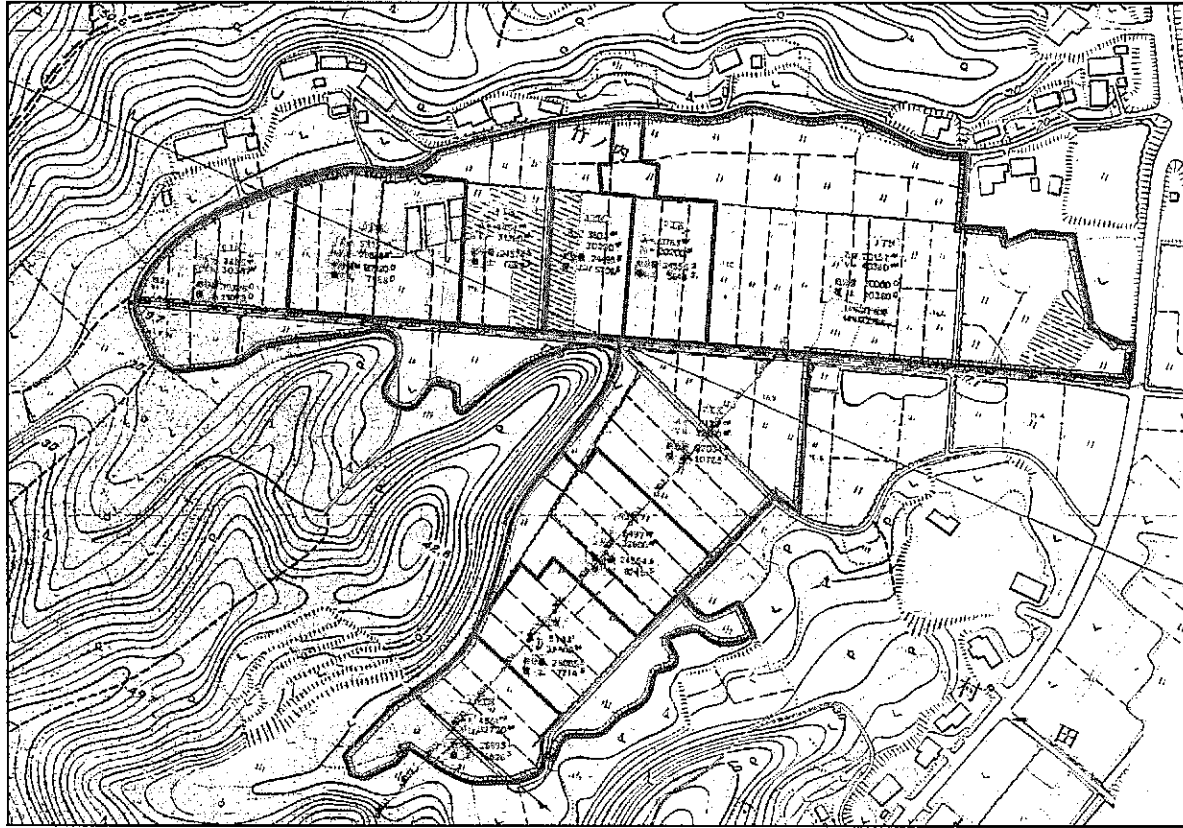
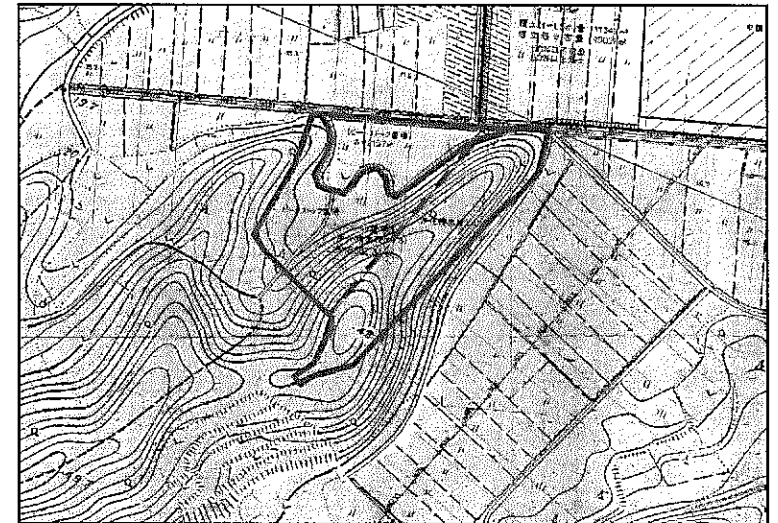


图 4-6 埋立廃棄物層 等層厚線図



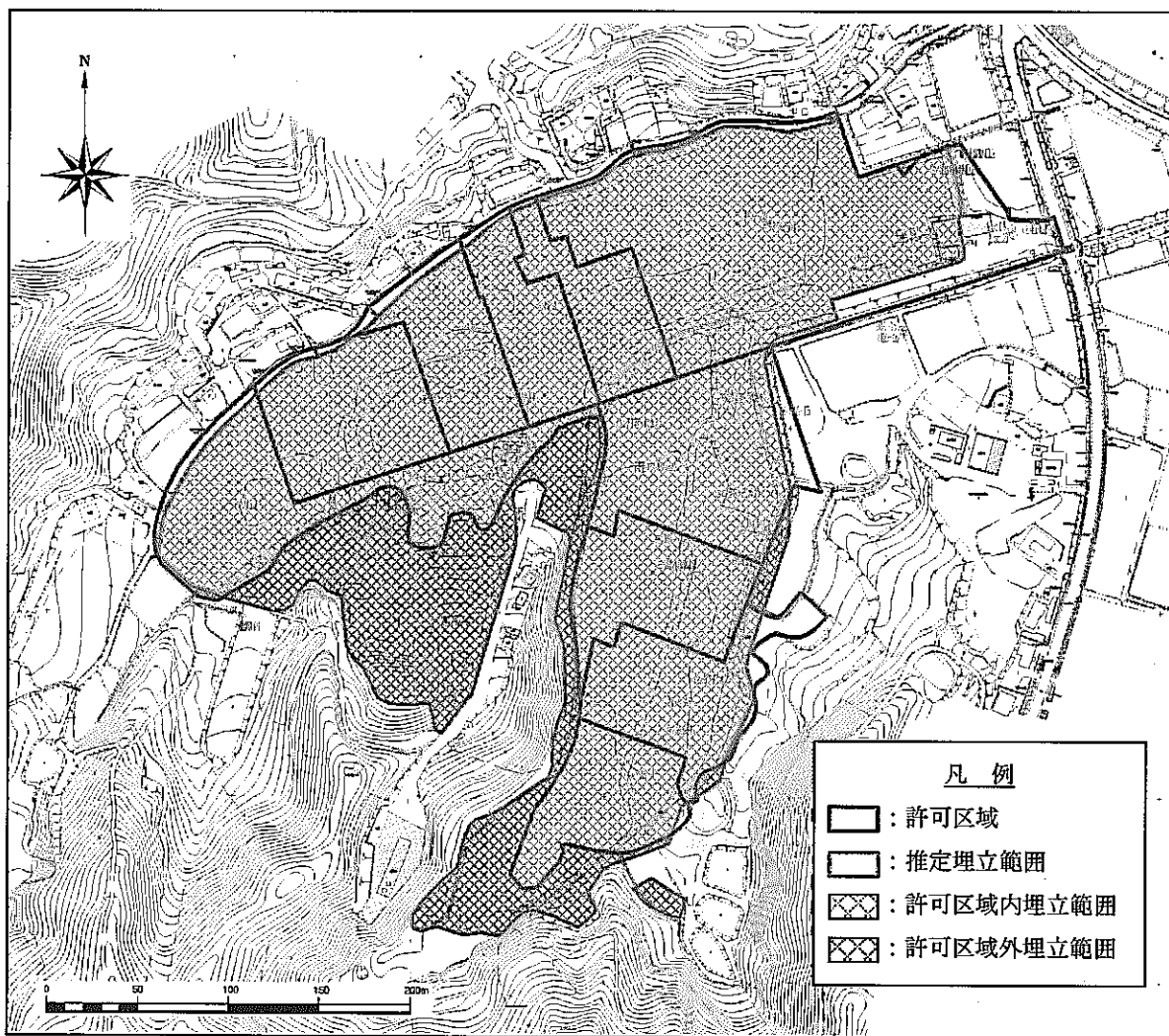
1) 届出図面による工区別埋立区域



2) 届出図面によるPEATストックエリア  
および浄化槽施設エリア

図5-1 届出(許可)時の埋立区域とPEATストックエリア及び浄化槽施設エリア位置図





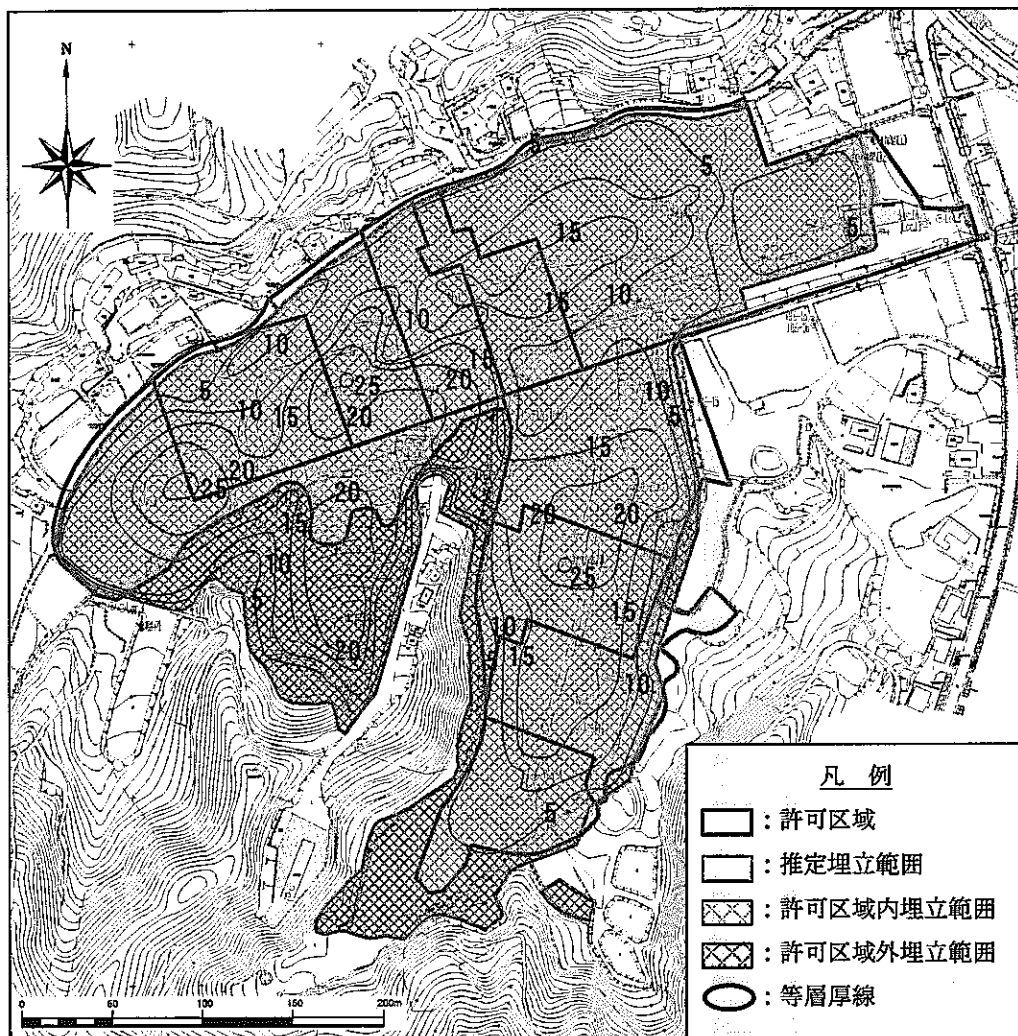
1) 許可区域内外の埋立廃棄物区分図

2) 許可区域面積と現況の推定埋立範囲面積比較一覧表

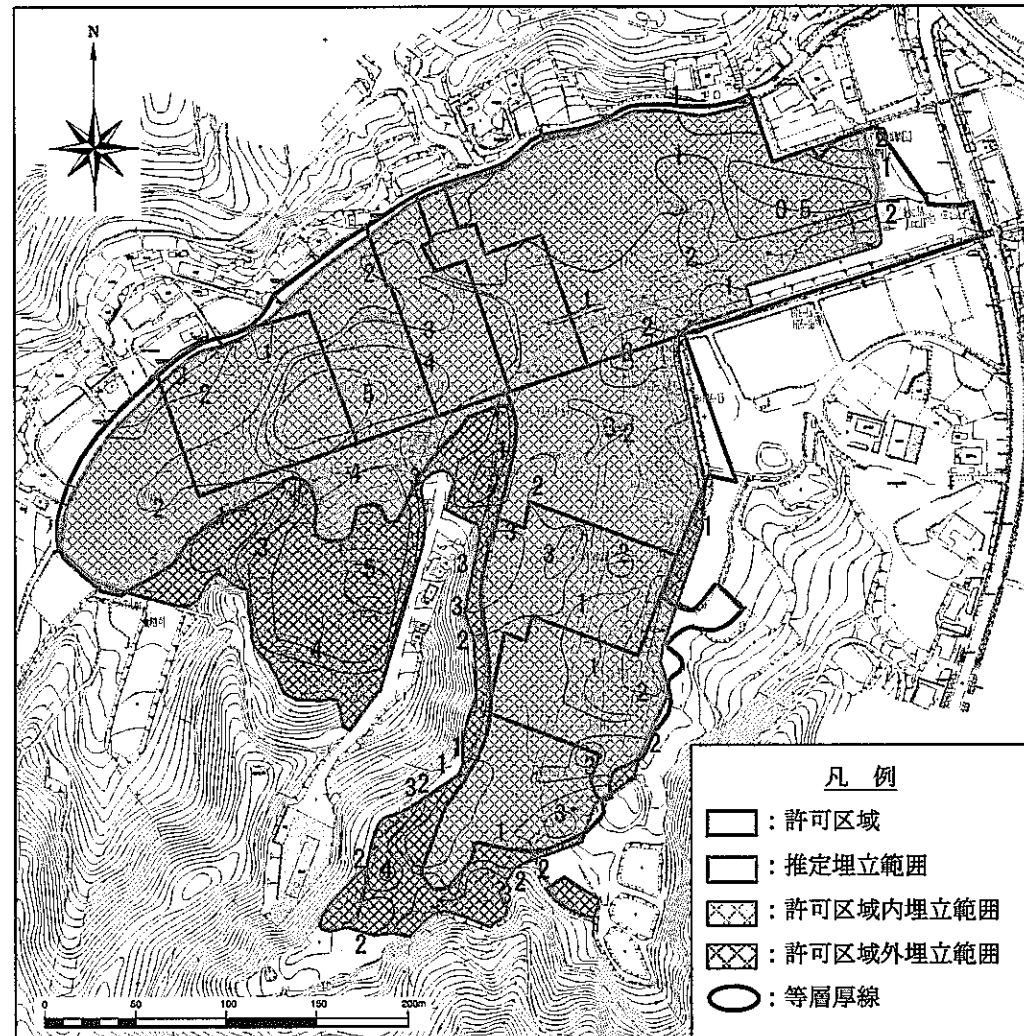
工 区	埋立面積 (m <sup>2</sup> )			
	許可範囲		現況 推定埋立範囲	
	許 可	(参考) 届出図面の再計算		
処分場内 旧工区	第1工区	20,176	21,992	45,732
	第2工区	3,852	4,050	
	第3工区	3,585.52	4,115	
	第4工区	3,763	4,853	
	第5工区	6,206	6,531	
	第6工区	7,420	9,220	
	小計	45,002.52	50,761	
処分場内 新工区	第7工区	7,175	9,288	24,121
	第8工区	5,497	5,624	
	第9工区	5,152.91	6,143	
	第10工区	4,571	4,745	
	小計	22,395.91	25,800	
	許可区域 小計	67,398.43	76,561	69,853
借地等	使用許可道路	2,297.12	上記数量に含む	上記数量に含む
	使用許可水路 <sup>*1</sup>	2,096.86	上記数量に含む	上記数量に含む
	使用許可 小計	4,393.98	—	—
	処分場内 小計	71,792.41	76,561	69,853
処分場外	ビートストックエリア及び 浄化槽設備エリア	8,662.31	8,944	11,424
	ビートストックエリア外	—	—	—
	新工区外	—	—	6,280
	処分場外 小計	8,662.31	8,944	17,704
	合 計	80,454.72	85,505	87,557

\*1: 第2～第6工区に沿った町道側の使用許可水路(沿辺宇竹の内前37番地、43番地、59番地、194番地の合計309.16m<sup>2</sup>)は現在も水路として利用され、廃棄物が埋め立てられていないと判断されるため、使用許可水路の数量から減算した  
・網掛け部は比較すべき面積を示す

図5-2 埋立廃棄物区分と許可時・現況の埋立面積の比較



1) 埋立廃棄物層の等層厚線図 (単位: m)



2) 覆土層の等層厚線図 (単位: m)

図5-3 埋立処分量算定図

表5-1 許可処分量と現況の推定埋立処分量との比較一覧表

工 区			埋立処分量(m <sup>3</sup> )					
			許可範囲*1			現況推定埋立範囲		
			埋立廃棄物量	覆土量	合計	埋立廃棄物量	覆土量	合計
処分場内	旧工区	第1工区	30,000	10,380	40,380	537,970	92,455	630,425
		第2工区	24,556	5,644.5	30,200			
		第3工区	24,495.5	5,704.5	30,200			
		第4工区	24,574.5	6,685.5	31,260			
		第5工区	20,920	7,968	28,888			
		第6工区	19,308	11,079	30,387			
		小計	143,854	47,462	191,315			
	新工区	第7工区	22,034.5	10,765.5	32,800	140,210	42,178	182,388
		第8工区	24,554.5	8,245.5	32,800			
		第9工区	25,085.5	7,714.5	32,800			
第10工区		25,894	6,826.5	32,720				
	小計	97,568	33,552.0	131,120				
	処分場小計	241,421.5	81,014	322,435	678,180	134,633	812,813	
処分場外	ピートストックエリア及び浄化槽設備エリア		—	—	—	144,893	36,339	181,232
	ピートストックエリア外		—	—	—			
	新工区外		—	—	—	19,878	13,886	33,764
	処分場外小計		0.00	0	0	164,771	50,225	214,996
合 計			241,421.50	81,014	322,435	842,951	184,858	1,027,809
			埋立容量の10%未満増の軽微変更(H12.6)により			354,435	覆土の行政代執行分	6,300*2

\*1:平成5年12月の産業廃棄物処理施設変更許可申請書より

\*2:覆土のうち、H15～H16年に県で代執行した分の覆土量(ただし、流出分9.1m<sup>3</sup>除く)

【まとめ】

	許 可	今回調査 (推定)
埋 立 面 積 (m <sup>2</sup> ):	67,398	87,557 (+ 20,159)
処 分 量 (m <sup>3</sup> ):	354,435	1,027,809 (+ 673,375)
(※処分量=覆土量+埋立廃棄物量)		